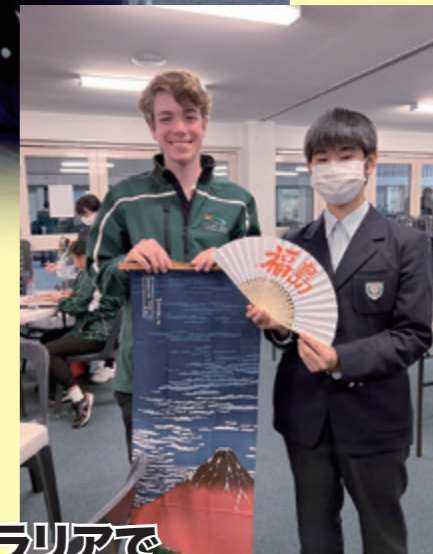




P.H.C.S.で開かれたフェアウェル・パーティー(お別れ会)。和製英語の意味を当ててもらうクイズを出したり、映像や「#映えないいいたてトランプ」(情報満載!学園オリジナルのトランプ)を使って飯館村を紹介したり、英語でのプレゼンテーションを堂々と行い、楽しいひとときを過ごしました。



授業に参加したり、宅配ピザでランチを楽しんだり、P.H.C.S.では、バディ(相棒)の助けをもらいながら、現地の学園生活を体験しました。さまざまなルーツを持つ生徒が互いの個性を受け入れ、自由に思いやりにあふれた学園生活を送っている様子から、オーストラリアののびやかな社会風土を感じることができました。英会話に加えて、翻訳アプリも駆使して、積極的にコミュニケーションを取ることができました。



## 多民族が心豊かに共生するオーストラリアで グローバルなWAKUWAKUを満喫!

フレンドリーな人々との出会いに心を開いて

羽田空港から、シドニー国際空港へ。「いいたて希望の里学園」後期課程の生徒5人がオーストラリアへ降り立ちました。

シドニー市内観光を経て、パシフィック・ヒルズ・クリスチャン・スクール(P.H.C.S.)で同校生徒と交流。さらに3日目からはホームステイへと、フレンドリーなオーストラリアンとの交流は、5人の自信を育んでいきました。2回目のP.H.C.S.訪問では自ら進んでコミュニケーション。

フェアウェルパーティーでは、英語でのプレゼンテーションも大成功。充実の語学研修を展開しました。

また、多様な人種の共生、寛容で温かな社会の雰囲気、豊かなライフスタイルを体感できたことは大きな経験。魅力的なパソナリティとの出会いも、国境を越えた人と人とのつながりを実感させてくれました。旅に出たからこそ得られた成長は、それぞれの人生の宝物ですね。



有機農業を営む農場を訪問。日本通の娘さんと、日本食やアニメの話で盛り上がりました。



オーストラリアに到着。早速シドニー市内をめぐる、オペラハウスなどの観光名所を見学しました。



シドニーで過ごす最後の夜、旅の終わりを惜しみながら、ダーリングハーバーを散策しました。



サーファーやジョギングの人が行き交うマンリービーチで、思い思いに優雅なランチタイム。

